

管理コース

【官民合同研修】 水質管理Ⅰ

1. 対象者 処理場の水質管理に従事する予定の人または経験の浅い人
処理場設備の保守管理に従事している人
2. 目 標 処理場の維持管理に必要な水質分析及び水質管理ができる
3. 研修開始日 9月25日(水) 10:00 開始予定
4. 研修終了日 10月4日(金) 17:00 終了予定
5. 受講料 (円・税込) 239,800
6. 募集開始 4月24日(水)
7. 募集終了 5月17日(金)
8. 会場 戸田研修センター

9. 標準カリキュラム

研修日	講義	時 間	内 容
1日目	開講式	10:00 ~ 10:30	開講式及びオリエンテーション
	教科内容の説明	10:30 ~ 11:00	研修教科内容の説明
	水処理・汚泥処理の基礎と理論	11:00 ~ 16:30	浄化原理及び水質用語、水面積負荷等の基礎とその理論、また、汚泥処理の原理及びTSS、VSS、固形物負荷等の基礎とその理論について解説
2日目	水質実習(1)	9:30 ~ 16:30	汚泥管理に必要な活性汚泥、一般汚泥の分析と運転管理との関連について解説
3日目		9:30 ~ 16:30	一般項目(BOD、COD、pH、SS、透視度)の分析とデータの読み方、運転管理への活かし方について解説
6日目	水質実習(2)	9:30 ~ 16:30	窒素、リンの分析の試薬準備と各態リンの分析並びにBOD(5日目)の分析とデータの読み方、運転管理への活かし方について解説
7日目		9:30 ~ 16:30	各態窒素の分析とデータの読み方、運転管理への活かし方について解説すると共に、二日間の総括
8日目	水質実習(3)	9:30 ~ 16:30	重金属分析の前処理、大腸菌群数培地の調整並びに培養開始
9日目		9:30 ~ 16:30	重金属の濃度測定と大腸菌群の計数、ならびに結果の読み方について解説
10日目	水質管理演習	9:30 ~ 16:30	実習で得られた結果を用い、固形物収支、余剰汚泥引き抜き量等を算出する、水質管理の演習を行うとともに、水処理機能異常時の対応について解説
	修了式	16:30 ~ 17:00	

10. その他

- ・研修は全寮制となりますので、宿泊される場合、研修期間中は全て宿泊いただきます。但し通勤による研修受講も可能です。その場合には「通勤による研修受講者希望申請書」をメールにてご提出ください。申請書はJS下水道研修のホームページ>「研修申込の手続き・書類ダウンロード」からダウンロードください。
- ・宿泊料の詳細についてはJS下水道研修のホームページ>「戸田研修に関する費用」ページに記載されております。
- ・前泊および後泊はできません。
- ・お問い合わせは下水道事業支援センター(TEL 048-422-6657)へお願いいたします。
- ・上記は標準的なカリキュラムであり、実施カリキュラムは予告なく変更する場合があります。
- ・処理場の維持管理を委託する場合に必要な知識等についても解説を行います。
- ・水質・汚泥等の分析手法は勿論、下水処理に必要な不可欠な分析結果の使い方を演習を通して解説します。
- ・実習、演習を通じて、水質データに対するイメージがより一層具体化します。近年では水質担当以外のの方の受講も増えております。水質担当のみならず、機械設備、電気設備担当の方も受講ください。
- ・開講日(受付9:00~、授業開始10:00~)、修了日(修了式~17:00)の日程は通常と異なりますのでご注意ください。